

緑いきづく 火の神の里



広報

# あそ

2005  
10月  
No.9

## 主な内容

- 2P 地域通貨って？
- 3P～9P まちのわだい
- 10P 市民会議委員募集
- 11P 救急の現状
- 12P～13P 阿蘇市の医療費
- 14P 阿蘇中央病院だより
- 15P は～い！保健師です
- 16～19P お知らせ
- 20P 人(樋口清輝氏)
- 21P～26P お知らせ
- 27P 田園空間博物館通信
- 28P お知らせカレンダー
- 29P おめでとうコーナー

ホームページ：<http://www.city.aso.kumamoto.jp/>



やぶさめ

## 流鏝馬

国の重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ「田実祭」が、9月25・26日開催されました。

田実祭は、秋の収穫に感謝する神事で、25日に行われた「流鏝馬」では、阿蘇清峰高校馬術部OBで結成された「阿蘇神社流鏝馬射手会(会長:石田靖之)」のメンバー10人が、140mの参道に設けられた3つの的をめがけ矢を射り、見事命中すると観客から拍手と歓声があがっていました。

### 市の人口

(住民基本台帳 8月末現在)

人口: 30,148人(-1)

男: 14,204人(+6)

女: 15,944人(-7)

世帯数: 10,573世帯(+9)

( )内は前月比

# ITを活用した地域通貨 実証実験がスタート

## 阿蘇えこぱす倶楽部を通じて流通を促進

in 阿蘇市

今年度、阿蘇市は総務省の地域通貨システム実証事業団体に認定され、11月からITを活用した新しい地域通貨の実践と普及に取り組むことになりました。この事業は、内閣府の地域再生本部が取り組む「地域再生推進のためのプログラム」に基づく支援措置の一つであり、今後、阿蘇市が策定した地域再生計画に基づき、推進していく事業です。

と自然との共生「地産地消による地域振興」をテーマとしたさまざまな体験や学習、交流プログラムを提供する予定です。

### 地域通貨とは？

地域通貨は、特定の地域内で限定的に流通する特別な「お金」です。普段、私たちが使っているお金法（法定通貨）は、どこでも、何とでも交換できるという汎用性を持つのに対し、地域通貨はボランティアや地域活動などへの対価など、法定通貨では表現することが難しい価値の交換を目的として利用することができるといえます。例えば上の絵のようなシーンが考えられます。つまり、地域通貨を使って「ひと儲け」はできませんが、「人もうけ」はできるということですね。

### 阿蘇えこぱす倶楽部に参加しGrass(グラス)を使う！

阿蘇市では、地域通貨実証事業の推進に向けて、阿蘇の自然環境や田園空間を活かした環境学習や体験を通じて発見したこと・感動したことを共有し伝え合う会員制コミュニティ「阿蘇えこぱす倶楽部」をスタートします。EcoPASSとは、Eco(環境・自

然とPASS(伝える・広める・流通させる)を組み合わせた造語です。会員の方はインターネットや住基カード等のICカード、携帯電話などで利用可能な阿蘇市地域通貨(EcoPASSポイント)を利用できるようになります。また、インターネットを使ったeラーニングや、地域安心安全情報共有システムを利用した情報提供など、さまざまなサービスの提供を予定しています。

地域通貨の単位は、草原をイメージするGrass(グラス)。

このGrassを使ってさまざまな人々の交流機会の拡大を目指し、阿蘇のファンを増やしていきたいと考えています。

具体的なポイントの使い方や、加入申し込みについては、次号の広報でご案内させていただきます。市民の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

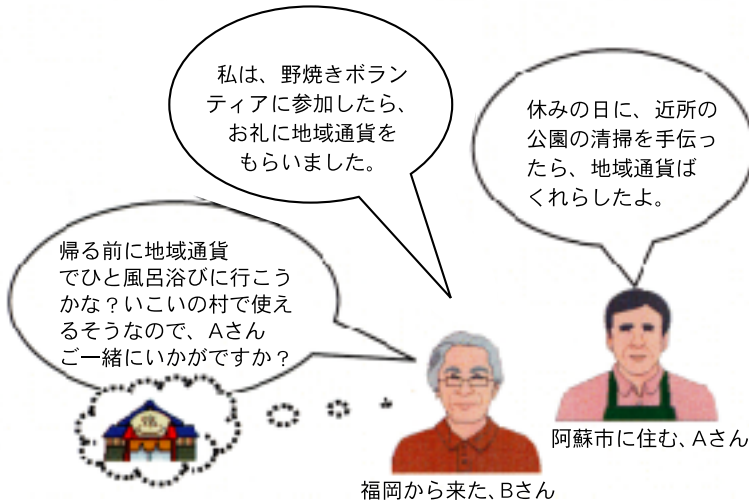
#### 問合せ先

阿蘇市役所 情報推進課

☎ 22・3253

市では、この新しい取り組みの推進を支える会員制コミュニティとして「阿蘇えこぱす倶楽部」を組織化し、「都市と農村の交流」

この地域再生計画は、阿蘇の自然や文化の維持・保全・継承を通じて阿蘇市に愛着を持つ人々(ファン)を増やし、地域の田園空間を活かした環境体験産業づくりを推進することを目的としたもので、その実現手段(ツール)のひとつとして、ICカードや携帯電話などを利用した地域交流通貨(コミュニティ・ポイント)を導入し、通貨の流通と循環により、これまで単発的であった交流事業の継続性を確保しようというものです。



阿蘇市に住む、Aさん  
福岡から来た、Bさん